

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	230	学校名	仙台市立中野中学校	校長名	角鹿 哲弥
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ「身の回りの環境を整える」



2 取組の紹介

■「花植え」

地域の方々に喜んでもらうため、ボランティア委員が学校前の路肩にある花壇に花を植えました。どのように花を配置して植えるかを考えるなど、地域の緑化に貢献したいという気持ちが行動に表れていました。また、地域の方が足を止めて花壇を見ている姿からも、地域の緑化に貢献できたことが伝わりました。

また、3年生の有志が集まり、校内に花壇を作りました。土を耕すところから始め、何も無かった場所に今ではたくさんの花がきれいに咲いています。花壇の説明をする生徒の表情は生き生きとしていました。



■「地域貢献デー」

9月に、各学年で役割分担をして地域のためにできることに取り組みました。2学年は豊齢者の方々に贈るシトラスリボンを作成し、3学年と生徒会執行部は、地域の方々に喜んでいただくため「ふれあい交流会」を企画、運営しました。

1学年は地域の公園のごみ拾いや草取りを行う予定でしたが、雨のため中止になってしまいました。その代わりに、生徒たちは海辺のごみ拾いを行う男性についての映像を見ることを通して、環境保護の大切さについて考えました。生徒たちはごみ拾いの良さを再認識しただけではなく、ごみを分別して捨てることの大切さを感じ、ボランティアへ興味を持ちました。実際にごみ拾いはできなかったものの、生徒たちを今後の良い行動に導く大切な時間となりました。

■「日々の清掃活動」

毎日の清掃活動のときに、生徒は教室や廊下を水拭きします。生徒の清掃への意欲を損なわないために、水の入ったペットボトルを窓際に置いて水を温め、清掃時に使用している学級があります。地球に優しい方法で、寒い冬でも生徒は意欲的に清掃活動に取り組んでいます。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

様々な活動を紹介しましたが、全て「身の回りの環境を整える」という点において共通しています。生徒は活動を通して、自分自身が集団の一員であることを再認識し、お互いが気持ちよく生活するために力を尽くすことの大切さを学びました。それぞれの活動に意欲的に取り組んでいる様子からも、誰かのために懸命に活動する良さや楽しさを感じていることが伝わりました。地域や校内の環境に目を向け、自分のできることは何かを考えて行動に移す姿をこれからも見るができるよう、指導に邁進したいと思います。